

在宅介護実態調査 結果抜粋

留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりです。

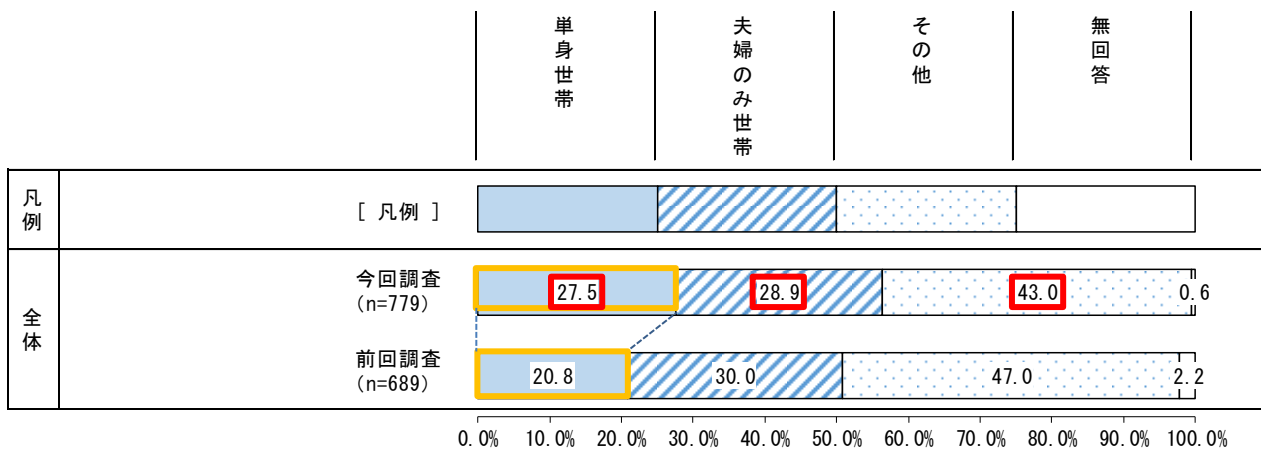
- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載しています。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合があります。

要支援・要介護認定者ご本人様について

● A問2 世帯類型について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

- 世帯類型について、「その他」が43.0%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.9%、「単身世帯」が27.5%となっています。
- 前回調査と比べ、「単身世帯」の割合が高くなっています。(20.8%→27.5%)

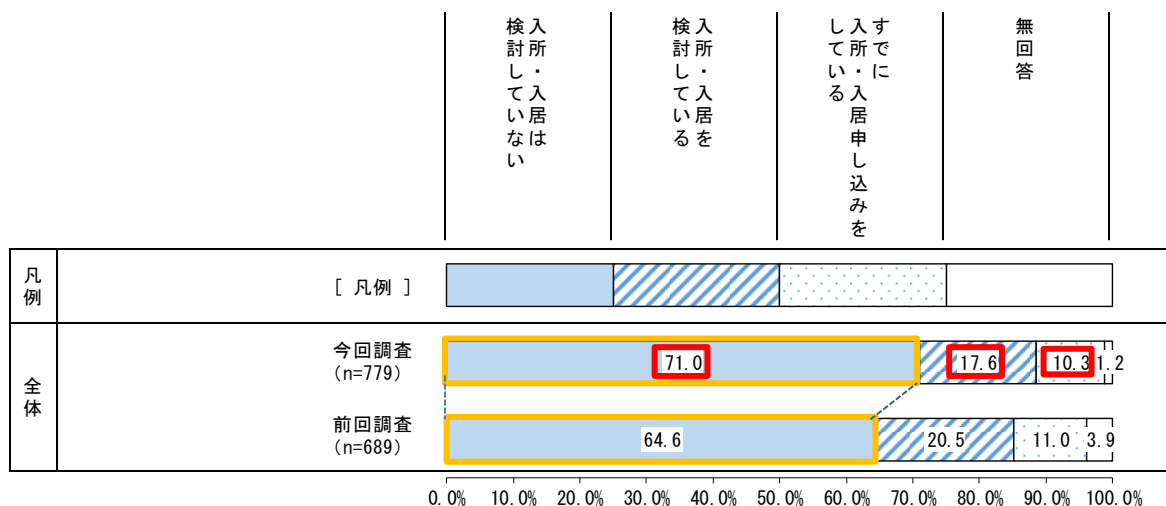
【世帯類型】



- A問3 現時点での、介護保険施設への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

- 介護保険施設への入所検討状況について、「入所・入居は検討していない」が71.0%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が17.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.3%となっています。
- 前回調査と比べ、「入所・入居は検討していない」割合が高くなっています(64.6%→71.0%)。

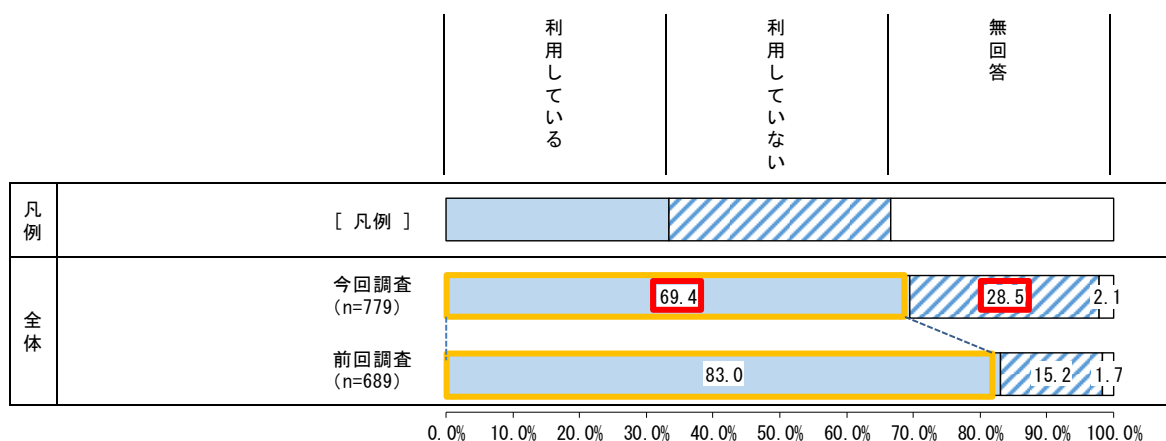
【介護保険施設への入所検討状況】



- A問7 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけ○)

- 介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が69.4%、「利用していない」が28.5%となっています。
- 前回調査と比べ、「利用している」割合が低くなっています。(83.0%→69.4%)

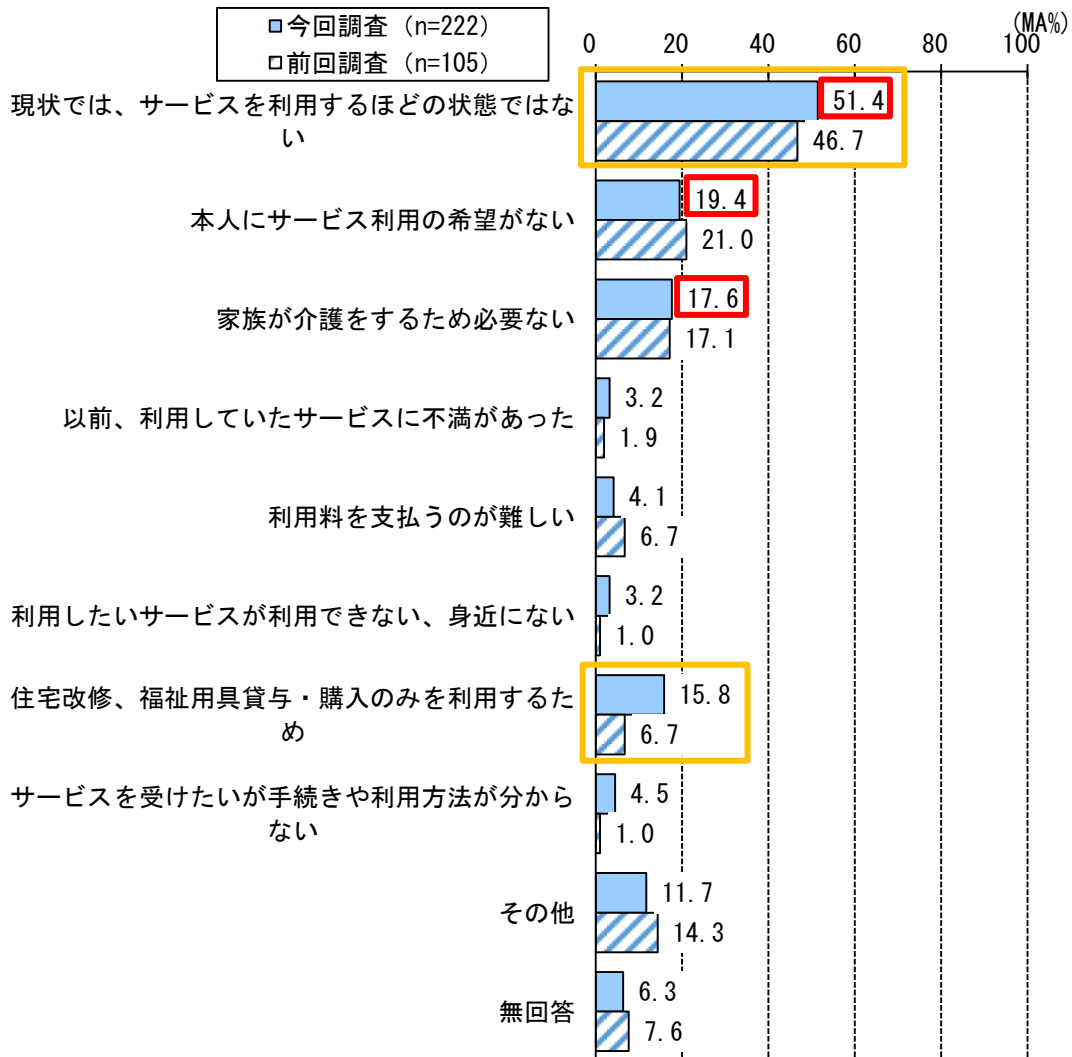
【介護保険サービスの利用状況】



●A問8 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- 介護保険サービス未利用の理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 51.4%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 19.4%、「家族が介護をするため必要ない」が 17.6%となっています。
- 前回調査と比べ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」という割合が 50%を超え (46.7%→51.4%)、また、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用する」割合が高くなっています (6.7%→15.8%)。

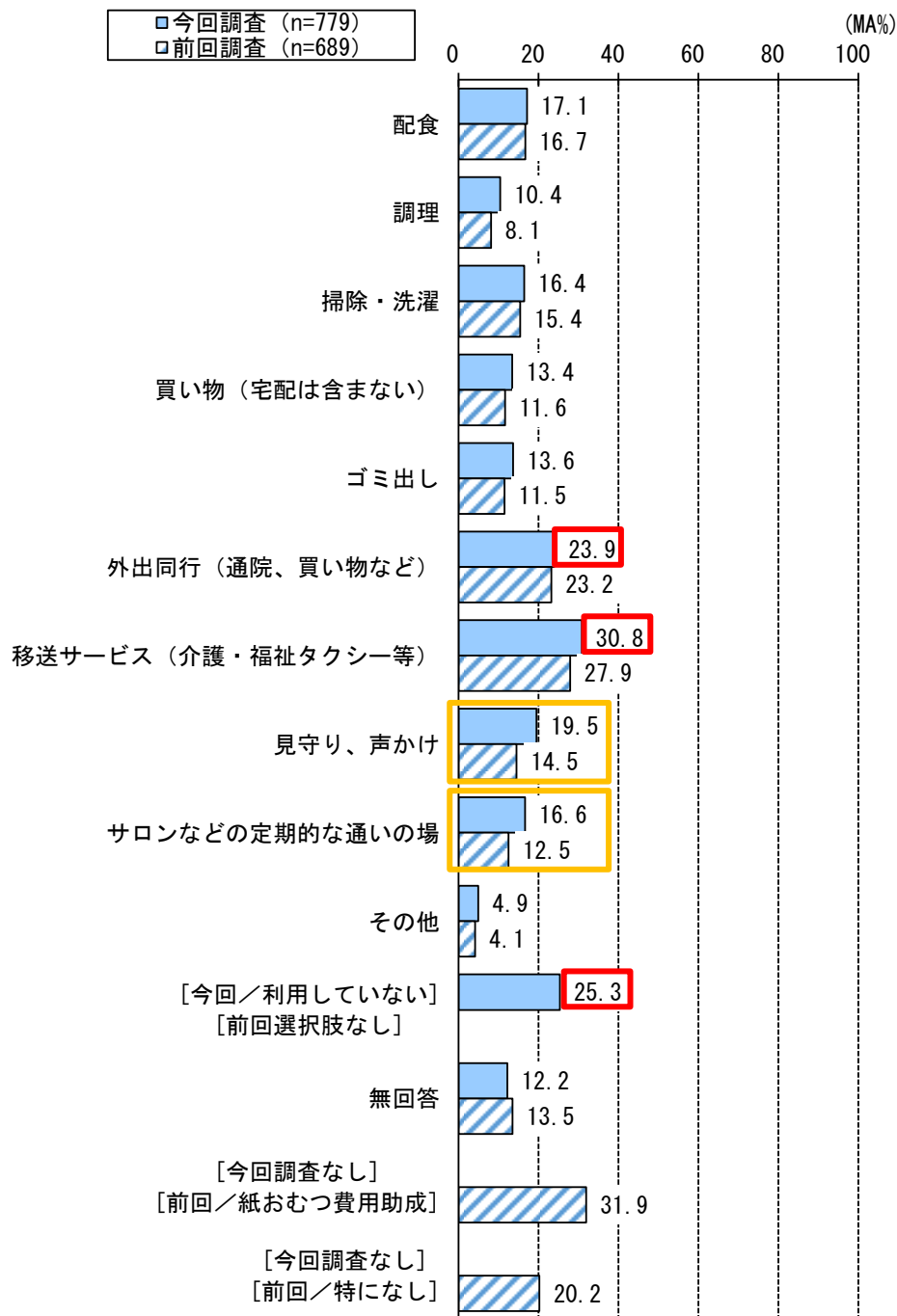
【介護保険サービス未利用の理由】



●A問10 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)

- 在宅生活継続に必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.8%で最も高く、次いで「利用していない」が25.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.9%となっています。
- 前回調査と比べ、「見守り、声かけ」（14.5%→19.5%）、「サロンなどの定期的な通いの場」（12.5%→16.6%）の割合が高くなっています。

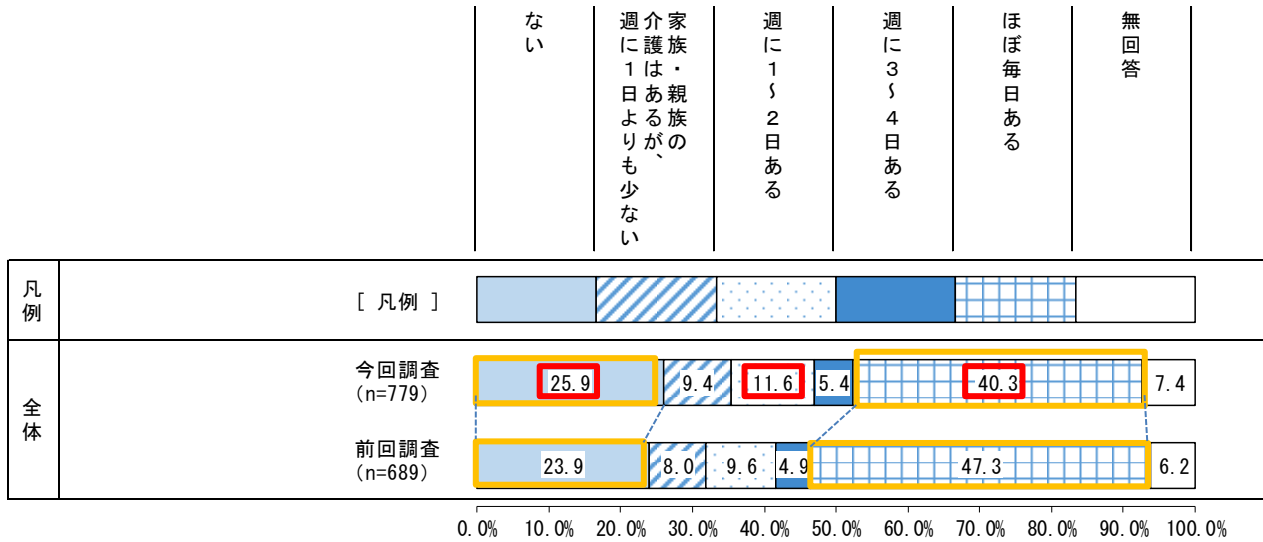
【在宅生活継続に必要な支援・サービス】



● A問12 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(ひとつだけ○)

- 家族・親族による介護頻度について、「ほぼ毎日ある」が 40.3%で最も高く、次いで「ない」が 25.9%、「週に1～2日ある」が 11.6%となっています。
- 前回調査と比べ、「ない」の割合が高くなっています (23.9%→25.9%)。一方、「ほぼ毎日ある」の割合が低くなりました (47.3%→40.3%)。

【家族・親族による介護頻度】

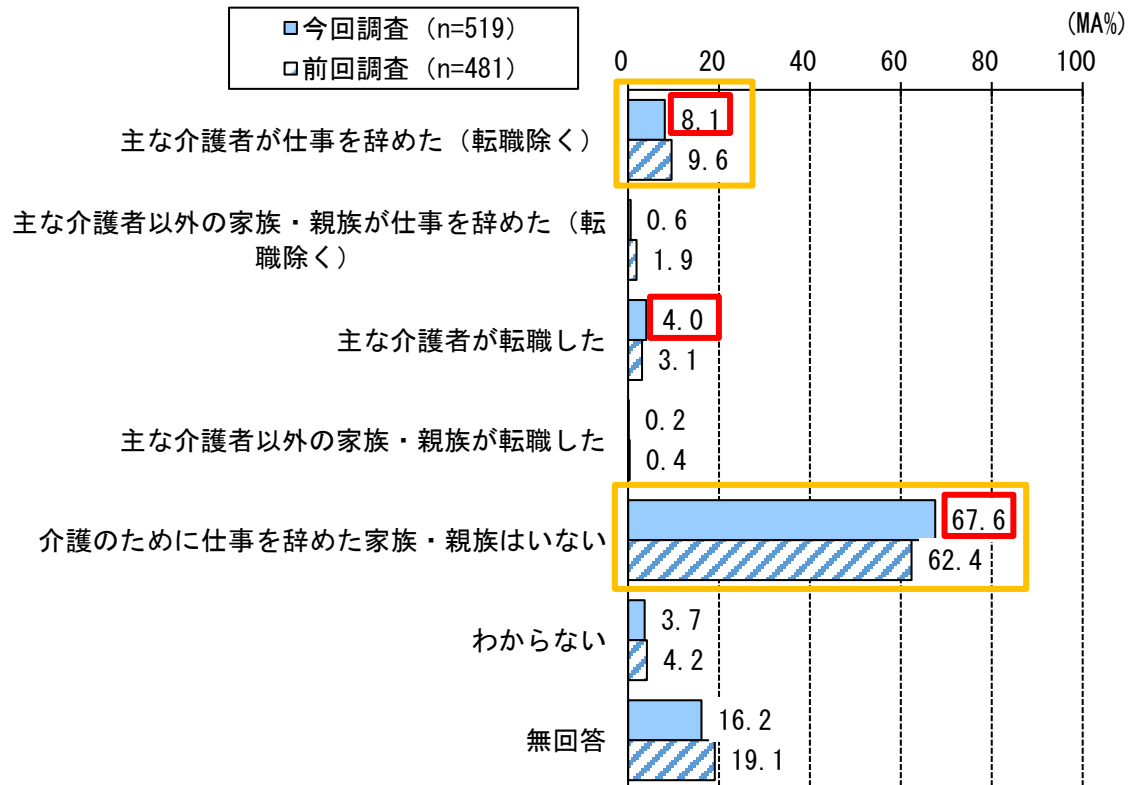


主な介護者の方について

- B問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（いくつでも○）

- 介護離職者の有無（過去1年）について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が67.6%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.1%、「主な介護者が転職した」が4.0%となっています。
- 前回調査と比べ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています（62.4%→67.6%）。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が低くなりました（9.6%→8.1%）。

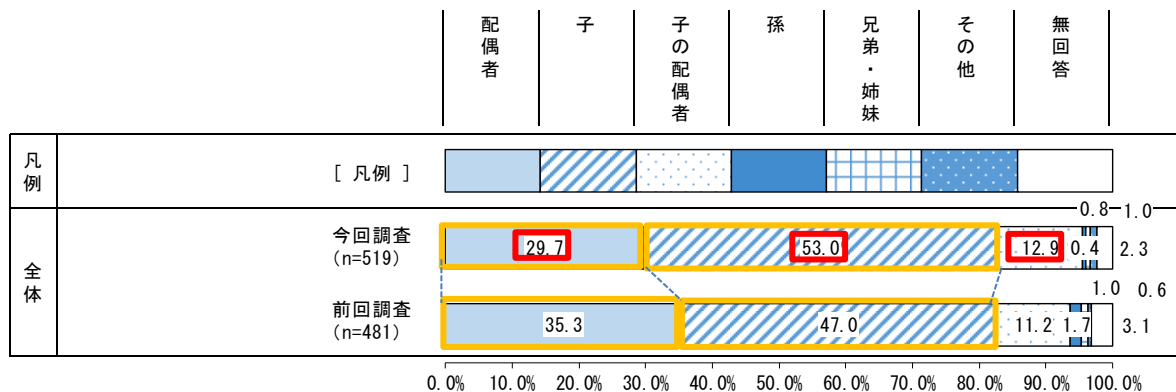
【介護離職者の有無（過去1年）】



● B問2 主な介護者の方は、どなたですか。(ひとつだけ○)

- 主な介護者について、「子」が 53.0%で最も高く、次いで「配偶者」が 29.7%、「子の配偶者」が 12.9%となっています。
- 前回調査と比べ、「子」の割合が 50%を超え高くなっています (47.0%→53.0%)。一方、「配偶者」の割合が低くなりました (35.3%→29.7%)。

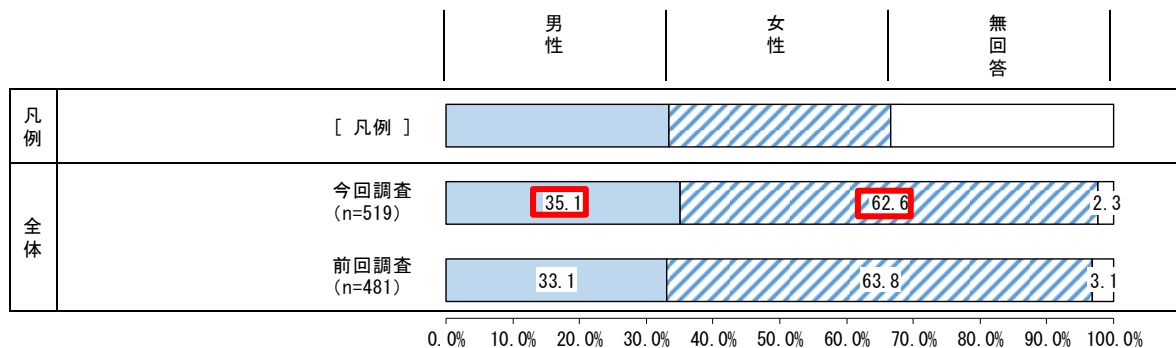
【主な介護者】



● B問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

- 主な介護者の性別について、「男性」が 35.1%、「女性」が 62.6%となっています。

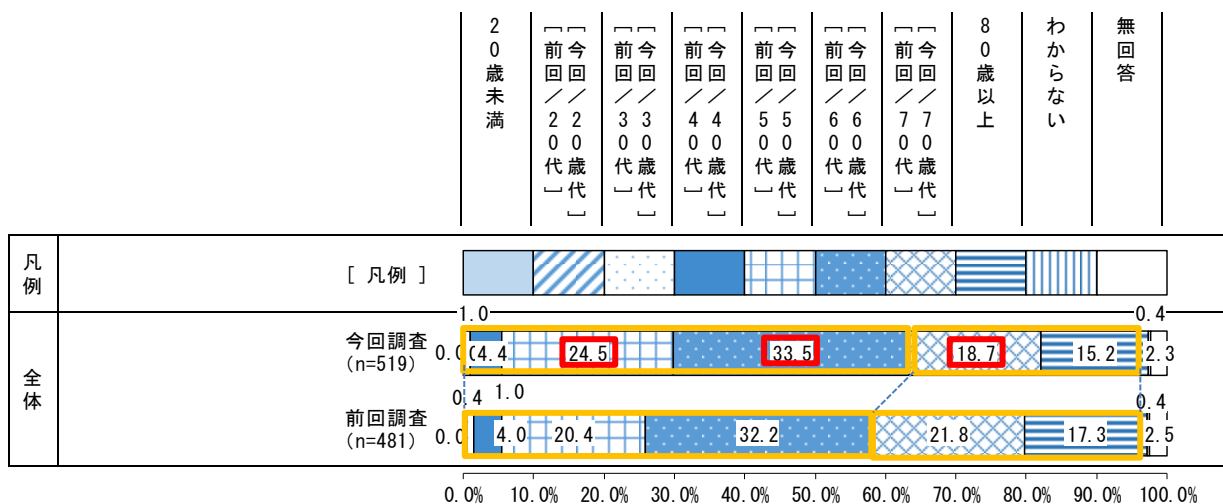
【主な介護者の性別】



● B問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

- 主な介護者の年齢について、「60 歳代」が 33.5%で最も高く、次いで「50 歳代」が 24.5%、「70 歳代」が 18.7%となっています。
- 前回調査と比べ、「60 歳代以下」の割合が高くなり (58.0%→63.4%)、「70 歳代以上」の割合が低くなりました (39.1%→33.9%)。

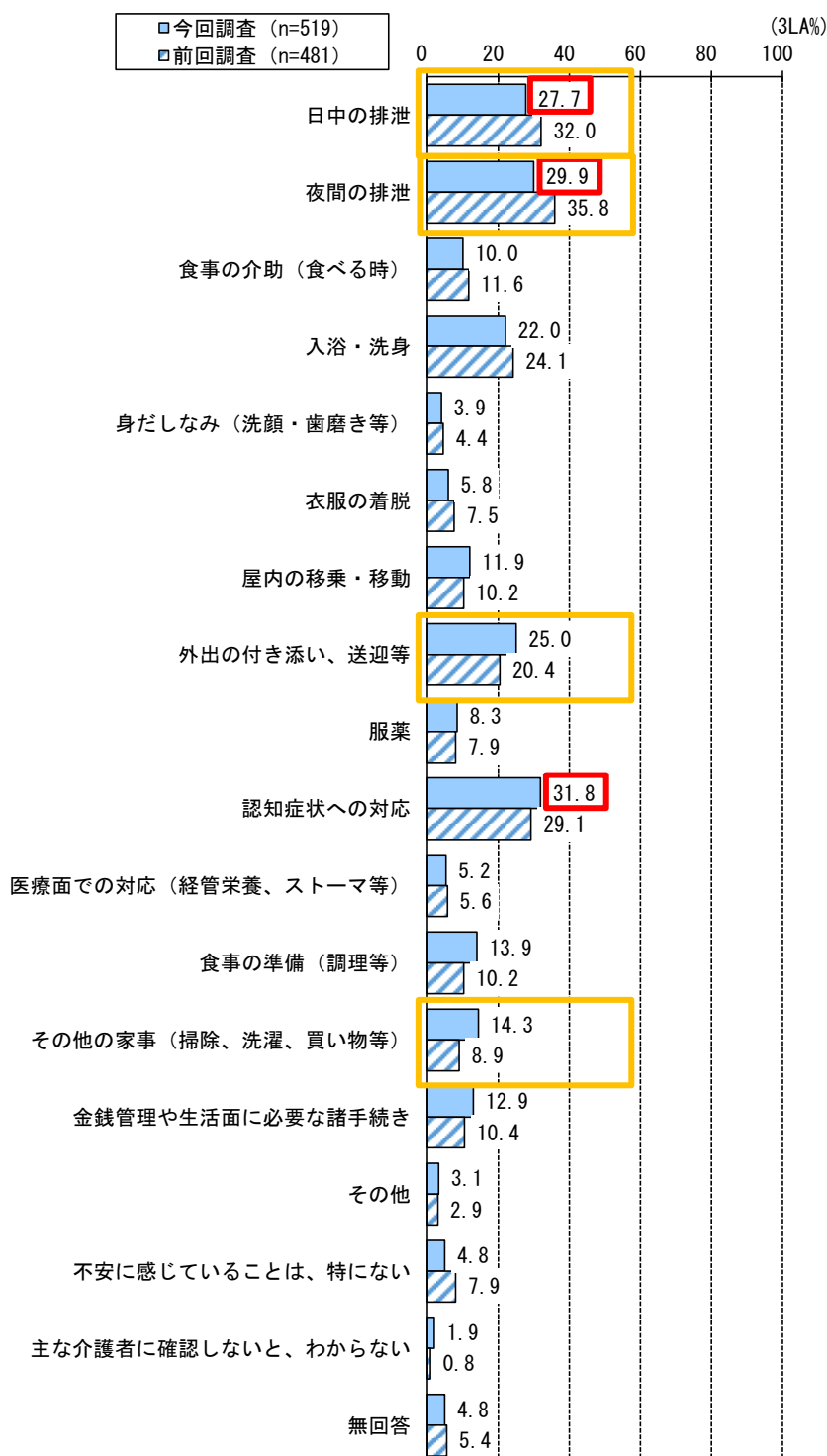
【主な介護者の年齢】



- B問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで○)

- 生活継続における介護の不安要素について、「認知症状への対応」が31.8%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が29.9%、「日中の排泄」が27.7%、「外出の付き添い、送迎等」が25.0%となっています。
- 前回調査と比べ、「外出の付き添い、送迎等」(20.4%→25.0%) および「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(8.9%→14.3%)の割合が高くなり、排泄の割合が低くなりました。(日中：32.0%→27.7%) (夜間：35.8%→29.9%)。

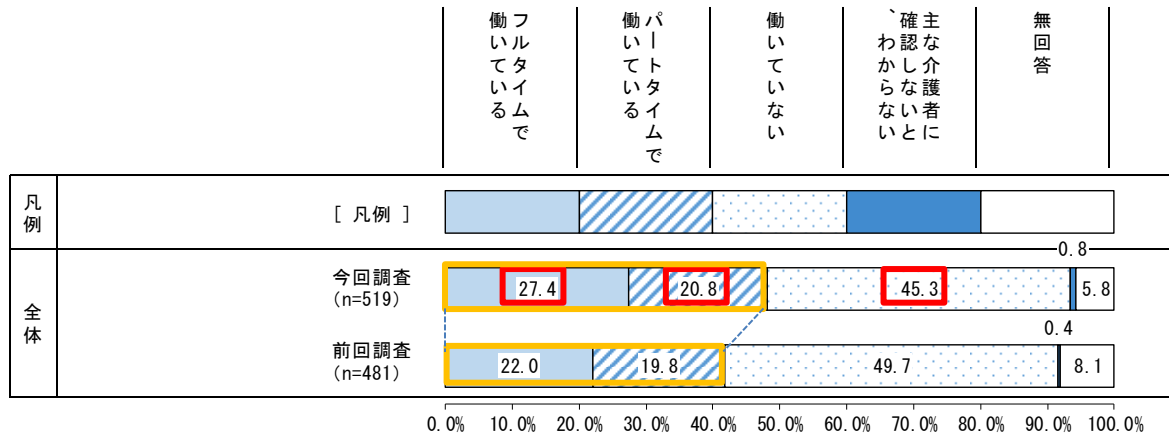
【生活継続における介護の不安要素】



● B問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

- 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が45.3%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が27.4%、「パートタイムで働いている」が20.8%となっています。
- 前回調査と比べ、「働いている」割合が高くなりました。(41.8%→48.2%)

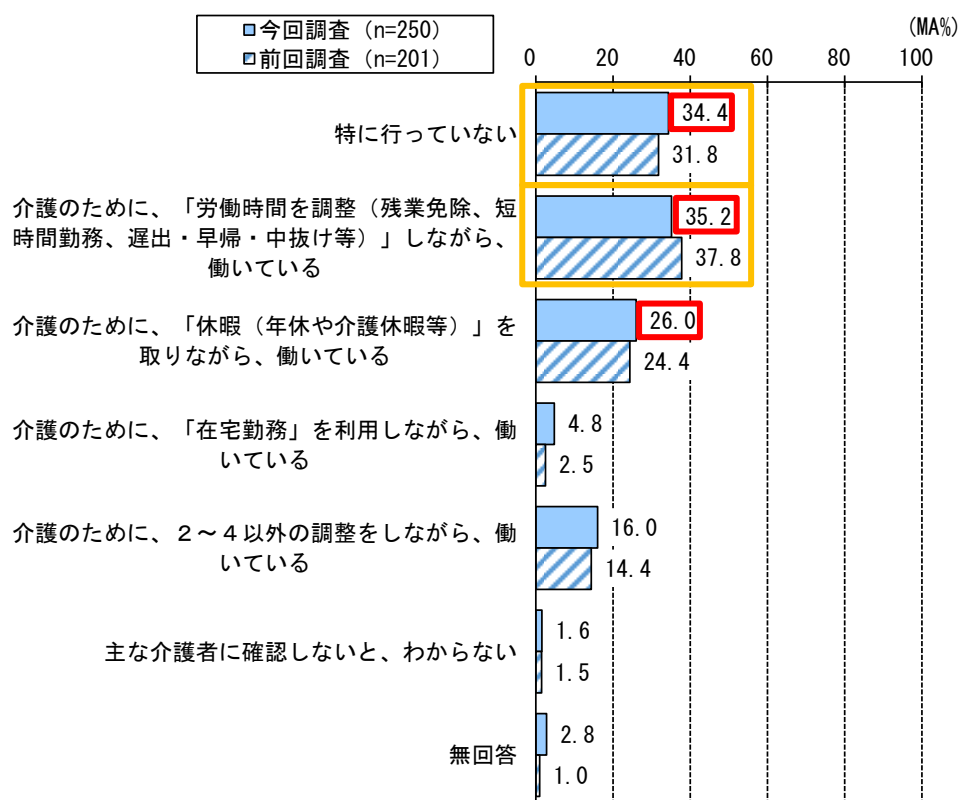
【主な介護者の勤務形態】



- B問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか。(いくつでも○)

- 介護に伴う働き方の調整状況について、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.2%で最も高く、次いで「特に行っていない」が34.4%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が26.0%となっています。
- 前回調査と比べ、「特に行っていない」割合が高くなりました（31.8%→34.4%）、一方、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」割合が低くなりました（37.8%→35.2%）。

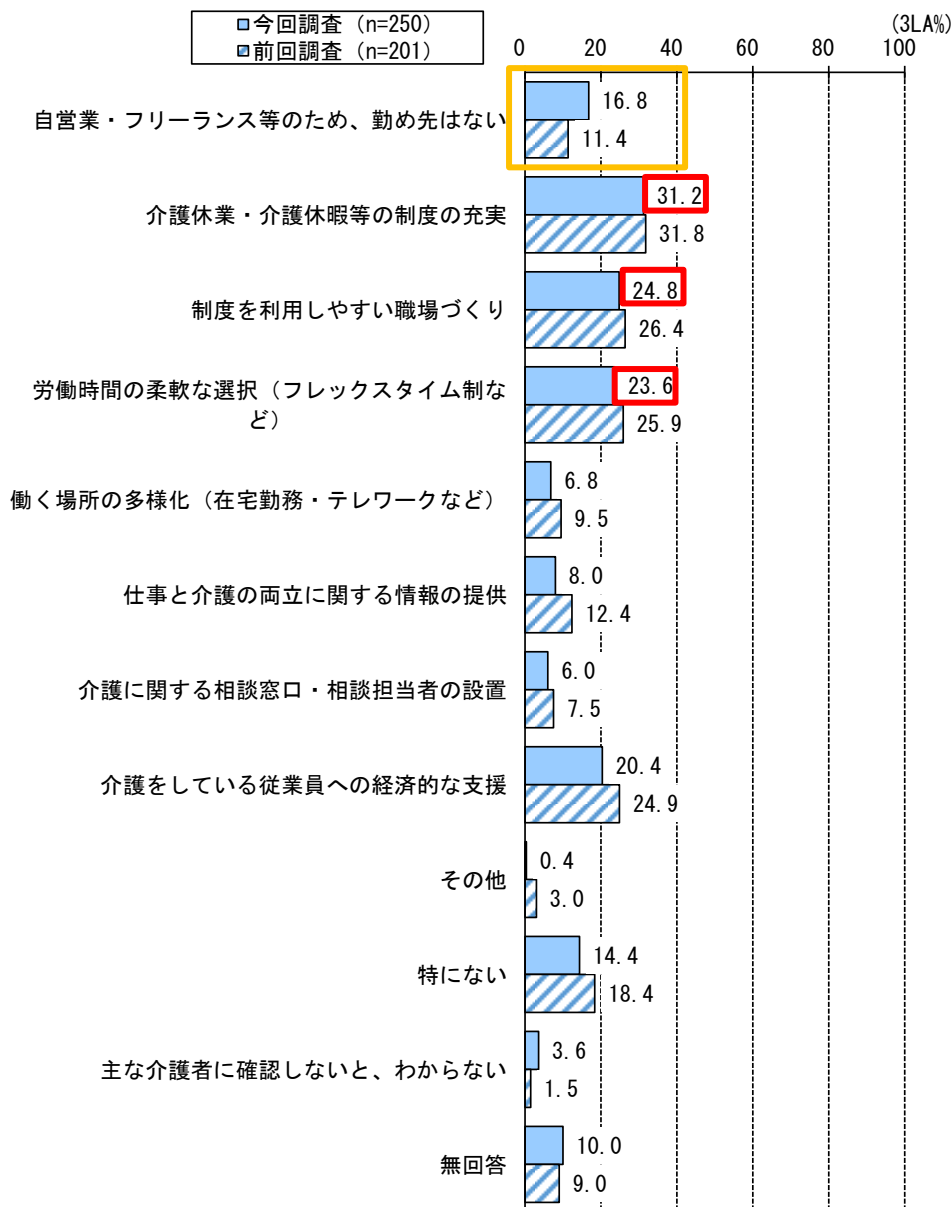
【介護に伴う働き方の調整状況】



- B問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで○）

- 仕事と介護の両立に必要な職場支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.2%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が24.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が23.6%となっています。
- 前回調査と比べ、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」という割合が高くなりました（11.4%→16.8%）。

【仕事と介護の両立に必要な職場支援】



● B問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(ひとつだけ○)

- 働きながらの介護継続の可否について、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.8%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が16.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.8%となっています。
- 前回調査と比べ、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、なんとか続けていける」を合わせた割合が高くなり(66.6%→70.8%)、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた割合は低くなりました(26.3%→16.4%)。

【働きながらの介護継続の可否】

